ver. 0.7

アリキラ白書２０２３

team－ARIMAX

この白書の感想をお待ちしています。
https://ja-mane.com/form/ のフォーム、
「白書の感想」宛にお送りください。

まえがき

みなさんこんばんは、ジャーマネです。前回のアリキラ白書２０１６から、なんと7年も経ってしまいました。かの有名なロックバンド「ビートルズ」の活動期間がおよそ7～8年間だったそうです。およそ1ビートルズ（国際単位）もサボっていたことになります。（ちなみにずうとるびも同じくらいの期間だそう…）

ビートルズトークも特に出来ませんので本題に入りましょう。さて今回の白書、新しいスタイルとなっております。名付けて「見切り発車あと乗せサクサクＷＩＮＤＯＷＳパッチ方式」。本全部が未完成でもとりあえず公開して、みなさまに読んで頂いている間にモロモロ追加をしていこうという画期的なものです。著しくダメな発想ですが、温厚な皆様におかれましてはきっと許して頂けるであろうというこの柔軟さ。素晴らしいですね。ホームベースから客席までの距離が足りなくても何とかなるんです。（失言）

段落を変えてしまえば失言も許してもらえると聞いていますので、段落を変えます。最後に、寄稿して頂いたメンバーのみんな、そして読んで頂いているすべての方々に感謝申し上げてまえがきを締めくくりたいと思います。それでは令和初のアリキラ白書、お楽しみください。「乾杯！！」（20年くらい前の洞爺サンパレス大宴会団体ブランＣＭの冒頭部分。サンシャインスポーツクラブ前から送迎バスあり）

目次

1　アナログとデジタルの狭間。レトロと未来の間　MOC　……4

『たぶんMOCの好きなものは、未来になじまない』

2　2023年スープカレーまとめ　途中経過編　tsZ　……12

3　とおるの推し～諏訪部順一編～　とおる　……20

4　出張版　その辺の必然　あくる　……24

5　エンタメ振り返り2023　ジャーマネ　……32

6　アリキラメンバーで打線組んでみた　ジャーマネ&トウカ　……38

7　ココ最近の好きなモノの話。　アサミ閣下　……44

8　アリキラ配信一覧表　……46

9　野球番！配信一覧表　……56

アナログとデジタルの狭間。レトロと未来の間

『たぶんＭＯＣの好きなものは、未来になじまない』

ＭＯＣ

・話のまくら

はいみなさまこんにちは、ＭＯＣでございます。ＭＣ．ＭＯＣなんて名乗ってた時代もありましたけど、いまやなんのＭＣもしていないのでただのＭＯＣと言うのが正しかろうと思います。いわば素ＭＯＣ。酢ＭＯＣにあらず。

過去何回か白書に原稿を書かせていただきましたが、毎回エッセイとも古代文書ともつかぬ、愚にもつかない長文を書き散らしていたように思います。読んだ方にとってなんの価値があるのかわかりませんが、というか価値皆無では？　と思わんでもないですが、そこはそれ、あると思い込むことで、自分を納得させてこの原稿を書いている次第であります。

人間気づくといけないこともある。

それにしても、ここまでのＭＯＣ原稿、あれ全部読んでる人いるんかな？　いないか。まあいいか。

さて毎度おなじみ脳みそ垂れ流しの序文を書き散らしながら、今回は何を書こうかと思考してみたのですが、なんか自分の生き方というか嗜好というか生き様的なものって、本当にいわゆる現代的なものと微妙にずれたところにいるなあと思ったわけです。

時代が進み、技術や考え方が進化して、なんつーかあらゆるものがネットワーク化して、あらゆるメディアがスマホやタブレットから楽しめるような社会になったわけですが、ＭＯＣが好んでるものっておそらく幼少期からほとんど変わってないんですよね。

ラジオ、というか人のしゃべり。

紙の本、というかテキスト全般。

いやね。そりゃ持ってますよ。スマホも高速ネットワーク回線につながる環境も。新しいデジタルガジェット出たりするとすげえなあと興奮したりもします。ただ、なんていうんでしょうねえ、便利だなあ、新しいなあ、時代変わったなあとか思いはするのですが、それを別に求めてないというのか、それが出ている世の中がすごいと言うこと自体で楽しめるというか。それを自分が利用すること自体はどちらかと言うと面倒だなあと思ったりするわけなのです。

ＭＯＣ超保守派、基本老人発想。

時代についてけないだけとも言うのですが、それでいいかなあと思ったりしています。こんな人結構いるのでは？

・やっぱりラジオが好き

そう言う意味でラジオってすごいですよね。ある意味全然変わらない。テレビの演出とかって時代に合わせて大きく変わったりとかしますし、最近ではネットワーク動画系メディアって、Youtuberだと Vtuberだのみたいに、音声変換だの、３Ｄモデリングだのみた

いに最新技術を駆使したようなものや、ただ個人がしゃべりまくっているだけみたいのも含め、様々なジャンルが栄枯盛衰しまくってますよね。（※注 ＭＯＣはこの辺全然観ないのでよーしりません。印象です。印象派です、嘘です）

その点ラジオってずっとラジオです。

基本、パーソナリティがしゃべり続けるか、リスナーのメッセージに応えたり、楽曲をかけたりするのみという。ある意味基本スタイルは太古の昔に確立していて、それが今も主流という。

音という情報量の少ないメディアだからこその発展しなさと、それゆえの変化しない居心地の良さがあります。

それがＭＯＣにはとても気持ちよいのです。どの番組でも好みの差はあれど安心感があるというか、なにかを強要されないというか、自然で優しくて、それでいてやや自分とは疎でいてくれる、そんなメディアだと思えます。

最近では電波主体の放送ではなく、ラジコのようにネットワーク配信メインにはなりましたが、それはあくまで届き方が変わっただけで、中身が変わったわけではありません。だれでも聞きやすくはなりましたし、いろんな地方のラジオがいつでも聞けるようになって本当によい時代になったとは思いますが。

ああ、ありがたや、ありがたや。こんな時代について行けないＭＯＣにも時代が居場所を残してくれている。などと感謝したりするわけです。

まあ、こんなこというと時代遅れを卑下しているようですが、そういうことでもなく、どちらかと言うと多様性素敵！というのが主要な気持ちだったりします。

新しいものが好きな人、変化した時代が当たり前の人、いろいろいますが、そんな中でも、こんなレトロな人種が生き残れる場が技術の進化のおかげで残ってくれている！うれしいねえ。てなわけです。

そして、もう一つのラジオの利点。それは疲れないメディアと言うこと。動画と違いＢＧＭとして流していてよく、情報量が少ないからこそ、各個人が適切な距離感と関わり方で参加できる。それも素晴らしいこと。なんとなくですけど、これからの時代ってまた人との関わり方が薄くなっていくと思っているので、ラジオってそういう時代がよいと思っている人たちにまたうけていく気がするんですよ。メジャにはならないけど決して廃れない。いつまでも受け皿で在り続ける。そんなメディア。よいものです。うんうん。

・紙の本が好き

そしてもう一つ好きなものは紙の本。

電子書籍も好きなんですけどね。実際電子でもたく

さん買ってますし。なによりいつでもどこでも買って読めるのは超利点だと思いますしね。でもＭＯＣ的には、この二つはいまや別の媒体なんじゃないかなあ思ってるんですよ。

それは、読んだときの受ける感覚がまったく違っているから（個人の乾燥もとい感想です）。　電子書籍やウェブ上のテキストを読んでいるときには、小説や漫画などの本であっても、ニュースなんかのテキストメディアであっても、どこか受動的な形で受け取っているように思います。自分から読みに行っているというよりは、スマホなんかから流れてくる娯楽を流しみているようなイメージでしょうか。

対して紙の本というのは、どこか能動的に向かい合っている感じがします。構えていると言うほどではありませんが、読みに行くぞ、どんな中身なのか探りに行くぞといった風情です。

なので、紙の本を読むときは、読み終わった後の感情の起伏が大きく出ます。面白い本だった場合はより興奮して、読んでいた本というものの価値が上がったような気すらしますし、いまいちだった本は、がっかりしてすぐ手放したくなるような気にすらなる。まあ、極端な例ですが。

もちろん人によってこの辺は全然違うでしょうし、読んでくれている人にしてみれば、おめーだけだよ！なんていうつっこみもあろうかと思いますが、ＭＯＣはこんな感じと言うことでご理解ください。

あと単純に好きなんですよね紙の本。とくに文庫サイズの。

ＭＯＣは手が小さめなので、タブレットは大きく重く感じてしまいます。紙の本はページを湾曲させて読めるのもいいですね。これ無意識にやっている人も多いのではと思うのですが、今まさに読んでいる行のところを、曲げて盛り上がらせて読んだりしません？これができるのが個人的には紙の本の素敵な点だと思います。読み手にあわせて媒体の物理的な形が変わってくれるのですよ。

タブレットは文字の大きさとか調節できるのはいいんですが、固くて曲げられないのがなあ。と真剣に思ってます。片手で持ちづらくないですか？　そういう手に合わせて使うことのできるフレキシブルなデバイスでないですかね？　できれば文庫サイズで。

ということで、紙の本はそういう人に合わせた優しさがあるように思えて、それがまたレトロ人間のＭＯＣには響くというわけです。

・今のＭＯＣが好きなもの

さて、ここまではこれまでのＭＯＣの話。

そんじゃ今ＭＯＣは何か新しく好きなものとか無い

わけ？と言う疑問もおありなことでしょう。……興味ない？　特に？　あそう。

まあ、それでも語ってしまうのがＭＯＣなわけです。ラジオと本ときて、さあ、最近興味があるのはなにか？

そう、それは雑誌。

しかも航空機内誌。

結局紙の本じゃん！

というつっこみはその通りなんで甘んじて受けます。

実は元々ＭＯＣは、飛行機に乗ったときに置いてあるあの雑誌を読むのが大好き。いろんな地方の料理や観光地紹介だったり、旅先での紀行文だったり、旅行にまつわる思い出を語った小説であったりと、旅をテーマにとりとめもなくまとめたあの雑誌を愛好しているのです。

飛行機が離陸するとまず機内誌を開き、端から端までじっくりと読み込んでから寝るのがＭＯＣスタイル。

そんなにいろんな航空会社には乗っているわけではないので、機内誌もそこまで数は見ていませんが、機内誌にもそれぞれ個性があって違いがあるのが面白いと感じます。

北海道出身のＭＯＣがよく使うＡＩＲＤＯだと『ｒａｐｏｒａ（らぽら）』、ＡＮＡだと『翼の王国』とかでしょうか。

『ｒａｐｏｒａ』は北海道メインだけあって、北海道の食や観光地、食材などにこだわった特集があり、道民のＭＯＣでも全然知らない知識が紹介されていたりして興味深い。『翼の王国』は大手機内誌だけあってページ数もあり読み応えばっちり。範囲も国内はもちろん海外のネタも入ってくるので、幅広くいろんな地域の旅気分が味わえます。

機内誌の好きなところはまさにこの旅気分で、行ったこともない場所の空気をいろんな表現形態で体感させてくれるのです。ＭＯＣと同じく機内誌好きと言う方も結構多いのでは？

ところがここに来てこのコロナ禍。ほとんど移動もなくなり、飛行機に乗る機会が激減（というか皆無）になってしまいました。当然、機内誌も読む機会もなくなり、ＭＯＣしょんぼり。　しかたなく、同じ雰囲気が味わえそうな雑誌を探してみたのですが、これが案外無いものなんですよね。旅行雑誌系は多数出てはいるのですが観光地やお店の紹介中心だったりして、求めている旅先の雰囲気を感じられるような紀行文や人に注目した構成を持った雑誌が本当にないんですよ（あったら教えて）。あの機内誌の空気感はやっぱり機内誌だから出ていたものなんだなあと、再確認した次第。近いようでいてジャンルが違うんですね。

ということで業を煮やしたＭＯＣがとった手段は機

内誌を購読すること。
飛行機に乗らないのに。
調べてみたら、機内誌って普通に通販で買えるんですよね、てっきり機内でしか読めないもんだと思い込んでいましたが。さっそくものは試しと先の『ｒａｐｏｒａ』を年間購読し、先日手元に届いた初回の号をじっくり読ませていただきました。
で、やっぱりいいですねえ機内誌。求めていたのはこれって言う感じ。思ったよりもページ数が少なかったとは思いましたが、レストランの紹介一つとっても、なぜこの地で開業したかとか食材へのこだわりとかがあったり、『私の北海道』と言うタイトルのコラムは短いながらも、北海道にまつわる執筆者の思い出が見える。
旅行雑誌とは似たようで微妙に違う、旅を中心に広い範囲をゆるくとりまとめている。この感じが求めていたものだったなと思った次第です。後半が乗ってもいない飛行機の航路情報や機内ラジオの情報だったり、機内で買えるお土産の情報だったりするのもご愛敬。それも飛行機に乗った気分になれてよいというものです。次はＪＡＬの機内誌も買ってみようかと検討してたりもします（翼の王国はオンラインで読めるらしいので）
こういうゆるくてずれた楽しみ方も、今の時代には合っているやらいないやら。流行のオンライン旅行ツアーとかでない辺りがＭＯＣ風情。ＭＯＣの旅は、機内誌とコーヒーでおうちの中から空を翔るのです。

・まとめる気のないまとめ

なんとあっという間の締めのお時間（ＭＯＣの気分次第ですが）。気がつけば、過去最長の長文になってしまいました。
もはや誰が読むのか、誰に向けたものなのかもわからない文字列が出来上がったわけです。筆がのってしまったときのＭＯＣによくある光景ですが、まあ、きっとここから削るとかは考えないことでしょう（どう掲載されているか楽しみだ）
お察しのこととは思いますが、ＭＯＣはこの文章をとても楽しく執筆しています。ここまでには書かなかったもう一つのＭＯＣの好きなことが文書を書くこと。キングジムのポメラを開いて、思いついたものをただ思いついたままに書き散らかしていくのがなんとも愉快な時間となるわけです。これだってきっと今の時代の娯楽とは少しずれたところにありますよね。だけどそれがよい。それが好きであること、それもよい。
ハイテク（死語？）にまみれた時代に、多少ハイテクを利用しながら、アナログに緩く生きる。それがどうやらＭＯＣの好きな生き様のようです。ここまで変

わらないことを思うと、きっとこれからもずっとそうなのでしょう。

こんなエッセイもどきに長らくお付き合いいただいた皆様には感謝感激雨あられ、おひねり投げてあげましょう。この場を与えてくれたアリキラ白書と編集のジャーマネ先生に尊敬を、五体投地で伝えましょう。

それではまた。いつか次回がありましたらお会いいたしましょう。

とっぴんぱらりのぷぅ。

2023年スープカレーまとめ
途中経過編

撮影：ｔｓＺ

ｔｓＺ

どうもｔｓＺです。久しぶりにアリキラ白書が出るということで、いつも通りスープカレー屋に行った回数のまとめを書いていきますよ。集計期間は２０２３年１月～２０２３年９月の９ヶ月間です。実は昨年の９月頃に引っ越しをしていたので、ランキングに新顔が入っている感じです。それではどうぞ。

第一位　カレー気分　10回

２０２３年の新顔にして大躍進した暫定一位がカレー気分になります。札幌の清田区というやや行きづらい場所にあるのですが、新しい自宅からぎりぎり歩いて行ける距離だったので、幾度となく通ってしまった形になります。

トマト系の酸味とタマネギ系の甘みをベースとしたスープで、敢えて例えるなら一灯庵のありがちスープと系統が近いと言えます。メイン具材は骨なしの柔らかいチキンや、これまたスプーンで崩せるくらい柔らかいポークなどいろいろあって楽しめます。もちろんですが野菜もしっかり美味しいです。

あと個人的にポイントが高いのが、ご飯に添えて出されるタマネギの酢漬けです。単なる酢漬けではなくいくつかのスパイスが混ぜてあります。これを味変としてご飯と一緒にすくってスープにつけて食べると大変美味いんですよね。

立地が中心街だったら他の上位陣と合わせて選択肢に入ってくる味が十分にあります。場所だけが難点ってところですね。まあソロで通いまくってますけど。

第二位　しゃば蔵　9回

暫定二位はここ数年ずっと上位に入り続けているしゃば蔵でした。最近はローカルテレビ番組で取り上げられることが増えて、思っている以上に人気のあるスープカレー屋になっています。おかげで予約してからじゃないと座りづらいことが結構多くなりました。ぶらりと寄って食べるのは難しい感じですね。

座りやすさはともかく、スパイスを巧みに使ったスープの美味しい料理屋ポジションは相変わらずで、

つけ麺やら冷やしラーメンやらスパイスカレーなんかのスープカレー以外のメニューも美味しく頂きました。スープカレーでも巨大な唐辛子の肉詰め天ぷらみたいな印象的なメニューがありましたね。毎回特殊メニューが美味しいので、あまり通常メニューを食べられないのが弱点と言えばそうなのかも知れないです。

第三位　KING　5回

２０２３年は新店もできて勢いに乗っているKINGが暫定三位です。旧来のセントラル店と新規のゲートウェイ店に行った回数の合計になっています。今年も変わらず人気店の一角でセントラル店は行列ができていることが多いです。ゲートウェイ店はまだ比較的空いているので入りやすいのが救いですかね。

味のほうは良い意味で安定していて変わりがないです。和風だしがほのかに香る濃厚なスープで具材との相性もいいんですよね。

第三位　一灯庵　5回

同じく暫定三位の一灯庵サンピアザ店です。引っ越しをしたため最寄りの駅ではなくなったので行く回数が減るかと思っていたんですけど逆に増えるという謎現象が起きています。

こちらも安定して美味しいスープカレーが頂けます。たまに微妙に味がブレる店もあるので、いつ行っても同じように美味いのは結構重要な要素だったりします。

第五位　エスパーイトウ　4回

暫定五位にエスパーイトウ北22条店が入ってきました。かつては最寄りの北24条駅にほぼ毎週用事があったのでかなり通っていたんですけど、用事の頻度が落ちたため合わせて通った回数も減りました。味のユニークさは十分あるので、たまに行きたい店

ではあるんですよね。

第五位　ベンベラ　4回

やや復活傾向のベンベラ・ネットワークカンパニーが暫定五位です。一時期は味のブレが結構あったので難しい顔をしながら様子見していたのですが、最近は良い感じに安定してきました。ベンベラっぽさは十分持っているので、たまに食べたい味だとは思います。ただどうしても旧マスターの宇宙一美味いスープカレーが思い出されてしまうのが難点なんですよね。

第七位　SOULSTORE　3回

街中でのサブ選択肢となるSOULSTOREは暫定七位でした。気分がしゃば蔵でもKINGでもない時に行く店なのでどうしても回数が少なめになりますね。２０２３年７月で15周年だったようでちょっとしたイベントをやっていました。自分は抽選でゴボウチケットを頂きましたよ。あの巨大なゴボウが１本増えるとボリュームがヤバかったです。

第八位　マジックスパイス　1回

人生初のUberEatsで頼んだのがマジックスパイスでした。２０２３年２月にコロナの濃厚接触者になってしまったので自宅から出られなくなってしまったタイミングでした。デリバリーでもちゃんとマジスパの味がしたので感心した覚えがあります。

第八位　SAVoY　1回

確かその日は牡蠣が無性に食べたかったような記

憶があります。牡蠣が食べられるスープカレー屋は少ないんですよね。そんなわけで1回だけSAVoYに行きましたとさ。

第八位

CHUTTA!

1回

久しぶりに味を確認しておこうかと思って行ったんですけど、その次の週に潰れてしまいました。個人的に通うほどの店ではなかったんですけど、スープカレー屋が潰れるのは少し切ないですね。

第八位

ポレポレ

1回

２０２２年に開拓した老舗だったんですけど、２０２３年に開拓したカレー気分のほうが好みの味だったために大きく後退してしまいました。

第八位

ピカンティ

1回

食べたらしっかり美味いのでもっと行きたいとその時は思うんですけど、何故か足を運ぶことは少ないピカンティです。結構混んでいるので並ぶのが面倒くさいってのはあると思います。

第八位

PARi PARi

1回

潰れたCHUTTA!の跡にできたのがPARi PARiです。新店ということで味見に行きました。感想としてはもう一歩ユニークさが足りない感じでした。普通に美味しいだけでは、そこまで行く気にはならないんですよね。

９ヶ月で合計46回、スープカレー屋に行ったことになりました。ここ数年ではかなりのハイペースで

す。何となく懐が寂しい気がしていたのはこれが遠因だったかな…。ともあれ、これを書いている時点で２０２３年も残り３ヶ月ですが、まだまだ素敵なスープカレーを食べていきたいですね。それでは。

あ、年末に弊ブログで完全版を公開する予定なので、思い出して見に来てくださいなー。

	カレー気分	しゃば蔵	KING	一灯庵	エスバーイトウ	ベンベラ	SOULSTORE	マジックスパイス	SAVoY	CHUTTA!	ボレボレ	ビカンティ	PARi PARi	合計
1月		1	1				1							3
2月					2			1	1					4
3月		1		1		1				1	1			5
4月	2	1	1											4
5月	2	2												4
6月	2		1	1		1						1		6
7月	1	2		1	1		1						1	7
8月	1	1	1	1	1	1	1							7
9月	2	1	1	1		1								6
10月														0
11月														0
12月														0
合計	10	9	5	5	4	4	3	1	1	1	1	1	1	46
割合	21.74%	19.57%	10.87%	10.87%	8.70%	8.70%	6.52%	2.17%	2.17%	2.17%	2.17%	2.17%	2.17%	

「とおるの推し～諏訪部順一編～」

とおる

みなさん、ごきげんよう。ＥＭＢのとおるです！

久しぶりの白書で何を書くかさんざん迷って、「推しの話でいいのでは」と、あくるさんからアドバイスをもらい、「今年の推し事を並べて面白いのだけ書くのは？」とトウカさんから提案してもらい、推しならたしかに一番字数が稼げそうと、テーマを絞った結果、表題になりました。

全く興味のない方も、そこそこ知ってるという方も、「とおるはこんなキャラが好きなんだなぁ」と思ってもらえれば十分です。あわよくば、「このキャラ好きそうだよ」と宣伝してもらえたら嬉しいです（笑）。

◎諏訪部順一さんについて

声優さんに明るくない方は知らないかもしれないので、ちょこっとだけ、とおる視点でご紹介。

諏訪部順一さんは、会社員から転職して、ナレーターや吹替、現在では多くのアニメーション作品に名前を連ねる声優さんです。低音で色気のある声を存分に発揮した２枚目キャラから、怪しい雰囲気を纏う名脇役、あるいは、どこか冴えないおじさん役まで、幅広く演じていらっしゃいます。あと、ボルボのＣＭなんかもナレーションしてたりします。

一躍有名になったキャラだと、「跡部景吾（テニスの王子様）」役といえば、わかる方も多いかな？　という感じですね。今なおファンが多いキャラクターですし。そんな役をゴロゴロお持ちの魔王です（？）。有名作品がアニメ化されると、必ずどこかで起用されているのでは、と探してしまうレベルで、います。鬼滅にも、僕のヒーローアカデミアにも、黒子のバスケにも、います。すご。

とおるが好きなキャラはこの後に書き出していくのですが、最近では、もはや「諏訪部さんだからそのキャラが好き」なのか、「そのキャラが好きだから、諏訪部さんの声で再現してもらった結果、より好き」なのか、わからなくなっているとおるです。とか言いつつ、諏訪部さんが出演なさる朗読劇とかも結構観劇に行っているので、単純にお声と演じ方が好きなんですよね。それが全て。ＱＥＤ。

前置きはここまでにして、ここからは、私が思い出せた限りの、「私が好きな」諏訪部さんキャラ一覧です。順不同です。順位などありません。「ここにあのキャラいないじゃーん」っていうのがあったら、それは私の推しではないか、そのキャラを知らないかのどっちかですので、ご容赦ください。

さくっといってみよー！

☆両面宿儺（呪術廻戦）

最強の呪いの王。強い。最初から強いキャラ、好きなんですよね～～～刺さる～～～。自分の手札を上手に使って、より有利な立場を得ようとする強キャラな悪役って、なんでこんなにカッコいいんでしょうね？

嘲笑い、見下し、相手をこき下ろす、まあ人間としてはひどい性格ですが、残虐非道キャラの諏訪部さんが良いんですよ。渋谷事変での大活躍、楽しみです！

☆乱凪砂（あんさんぶるスターズ！！）

アイドルとして育てられ、アイドルとして生きることが自分の人生だと思っている長髪の男性。浮世離れしているところがあり、言動がふわふわしている不思議くんなのですが、頭は良く、飲み込みも早いタイプっぽいです。Edenというユニットのリーダーで、このユニットがまたカッコいいんですわ。衣装とか曲とか、刺さってるんですよね～。どこかぼんやりした、優しい話し方で諏訪部さんの声がしたら、そりゃ落ちますよ、ええ。声が好きで歌い方も好きだったら、そのキャラは好きになりますよね。避けられない運命。

☆ローラン・ティエリー（GREAT PRETENDER）

２０２０年に放映された、WIT STUDIOのオリジナルアニメ「GREAT PRETENDER」。絵画のような作画と背景、そして、PRETENDER（詐欺師）を描いたアニメということで、面白そう！と見たら、いるじゃないですか諏訪部さんが。ローランは凄腕詐欺師で、口八丁でいろんな大物を騙していくのですが、ときどき見せる人情や感傷的な表情に、どうしても憎めなさを感じてしまうキャラクターでした。相手を誑かして稼いでいる反面、人間味を感じる諏訪部さんのキャラ、良い……。

☆店長（SPY × FAMILY）

「誰？」って感じだと思います。２期のアニメはこれからですしね。たぶん1期でのセリフは、「こんばんは〈いばら姫〉、お客様が入りましたよ」というような電話のセリフくらいで、外見は出てきてないし、それ以外の言葉はほぼ発してないと思います。ヨルさんと

関わりが深く、国のために働く殺し屋組織の頭みたいな立ち位置の人物（今時点では）。怪しい雰囲気満載で、何を考えているのかまだよくわからない人なのですが、それがまた良い。諏訪部さんボイスの怪しい人物ほど、わくわくするとおるです。

☆神宮寺レン（うたの☆プリンスさまっ♪）

この人なしに、とおるの推し活は語れないレベルの重要人物。御曹司で三男、サックスが吹けて歌も歌えて、モデルもやってるセクシー担当アイドル。諏訪部さんは、キャラソンがあれば、それぞれ素晴らしいキャラ解釈で歌ってくれる方ですが、彼の歌は本当に好きで……。色気があり、優しさもあり、ドキドキするような押しの強さもあり。初期から最新まで、どの曲も好きですし、体温が上がる曲ばかりですが、あえて1曲を選ぶなら、カラオケで声真似しまくった「オレンジラプソディ」です（笑）。

☆セス・ノエル（魔法使いの嫁）

もうすぐ2期の後半が始まります、魔法使いの嫁！原作コミックから大好きな作品で、アニメ化したのを見た時は感動すら覚えました。原作をリスペクトした映像美とBGM、声優さんの配役も完璧です。この作品のわたしの最推しはエリアスですが、このセスさんも好きなので入れさせてもらいました。アニメ2期によく出てくるキャラなのですが、この人、わりとちょこちょこ出てきます。なんだったら、一番最初からいます。セスさんは、とても人間らしく主人公のチセを心配し、助けてくれる人であり、全くの善人とは言えないまでも、チセが、手を貸したいと思う程度には、恩を感じた人です。どこか気弱そうな、優男風のセスさんを、諏訪部さんの落ち着いた優しい声で聞けて、とおるはニコニコします。

☆葬儀屋（黒執事）

妖しい人物筆頭、アンダーテイカー。黒執事をご存知の方は、この人物の正体を知っているであろうと思いますが、もし今から黒執事を読もう、見ようと思っている人がいたらネタバレになっちゃうので伏せます。諏訪部さんが演じて、割と気が狂ってるタイプのキャラで、裏の顔持ち。ヘラヘラしているときと、真面目な話をしているときの落差がすごい……！　そんなん好きに決まってんじゃーん、という感じです。

☆アーチャー（主にFate/stay night、Fate/Unlimited Blade Works）

Fateのセイバールート、凛ルートで主に活躍するサーヴァント、アーチャー。Fateシリーズは、サーヴァントとして「英雄」が、魔術師の呼びかけに応じて召喚され、その召喚した魔術師（マスター）とサーヴァン

トがペアになって、万能の願望器である聖杯を求めて戦う話が大枠。サーヴァントは、大抵が「過去の偉人」であり、その生涯に関係する武器やスキルを持っています。が、このアーチャーは、正体がわからないまま話が進みます。彼が一体誰なのか、彼が「英雄」として望んだことは何なのか、などなど、彼についての詳しいことや結末を知りたい方は、Fate/Unlimited Blade Worksをぜひ履修してください。諏訪部さんの英語、めちゃめちゃかっこいいです……！　あと、諏訪部さんのアーチャーと、神奈延年さん演じるランサーとの戦いも、見応えありますよ。

☆店主（異世界食堂）

なんでか、異世界とお店の入り口が繋がってしまった洋食屋さんの店主。個人経営らしく、美味しそうなご飯ものからデザートまで、基本的に1人でつくっちゃう料理人です。異世界の住人たちに、それぞれの要望に応じたメニューを出していたら、いつの間にか異世界で人気になっちゃった、みたいなお話。口数が多いわけではありませんが、穏やかな男性で、異世界人たちを受け入れる度量の大きさもあります。見た目はお髭のおじさまなのですが、良い声のおじさまって、刺さるんですよね……。

☆ヤミ・スケヒロ（ブラック・クローバー）

アニメ派なので、ヤミが大変なことになったところで終わってるんですが……！　あれ、どうなるんです？！　気になる！！　とおるの履修状況はさておき。このヤミという人物は、型破りな魔法士で、主人公たちの国の出身ではありません。どうやら日本っぽい国から流れ着いて、魔法帝（国で一番偉い人だけど、王様は別にいる）に拾われて、魔法士として戦ってきた人。めっちゃムキムキ。胸筋がヤバい。（話飛びますけど、ONE PIECEもゾロとブルックとミホークが好きなので、剣士が好きなんですよね。）そして、日本刀で戦うのカッコよすぎるんですわ～。しかも、「闇」の魔法士なので、魔法の色が黒！！最高です！！　タバコは吸うし、無精髭だし、いつも白のタンクトップにボロボロのマントを肩にかけてるしで、清潔感ゼロのおじさんなんですが、ぶっきらぼうな話し方の良い声がね～～。抗えませんな。そりゃ、シャーロットさんも好きになっちゃいますよ。

気が付いたら10人いましたね。書き切ったので満足しました～。振り返ると、このアニメ面白かったな～とかっていうのも思い出せてよかったです！

お付き合いいただき、ありがとうございました！
以上、ＥＭＢのとおるでした～！

出張版　その辺の必然

あくる

◆　はじめに

アリキラリスナーの皆々様、ごきげんよう。ＥＭＢのあくるです。

今夏の耐え難き灼熱を浴びながら、もしやこのまま日本は一年三六五日エブリデイ酷暑日という灼熱の国になってしまうのではないかと危惧していた日々も懐かしく、存外あっさりと過ごしやすい秋の気候になりました。日本は季節ですら空気を読むのだなあと感心する今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。いつもお便りありがとうございます。

などとご挨拶は程々にしておいて。久し振りのアリキラ白書！　白書の原稿を書くのは何年振りだろう。「好きなものについて」をテーマに、とのことだったので、はじめは今年飲んだお茶の中から厳選したお気に入り茶葉たちを紹介する記事を書いていたのだが、白書の原稿どうよという話をしていたところ、気が付いたら二転三転し、主人公俺が失恋したキャラで打線を組んでみるのはどうか、ＥＭＢがウマ娘や原神のキャラだったらどういう性能なのかパロディを書くのも楽しそう、と紆余曲折を経た結果、最近（※二〇二三年九月二六日現在）配信されたアリキラにて「あくるとトウカさんととおるさんでルームシェアを始めたよ」という話が出たので、それについて書くことにした。実際は「ルームシェアを始めたよ」なんて畏まった報告はせず、食後に皿を洗うザブザブザバーとした水の気配と、入居後二週間が経過して漸く届いたカーテンの外装を引きちぎる音が響き渡っていただけだったが。

そもそも当初の「好きなものについて」ってお題はどこへいったんだ。ＥＭＢも好きなものの一つだし、ギリギリセーフだったりするんだろうか。セーフということにする。心の主審が両手を大きくシュバッと横に広げている。よし、セーフだ。

さて、改めて皆様ご存知だろうか。残暑厳しい九月某日、ＥＭＢがひっそりと共同生活をスタートし

ていたことを。今回はその中でも印象深かった出来事などについて、いくつか話そうと思う。それぞれの話は独立しているのでお好きなものだけどうぞ。

◆　エアコンがついている

我々ＥＭＢが借りることになった部屋にはどうやらエアコンがついているらしい。エアコン高いんだよね！　良かった！　ラッキー！　などと喜んだのも束の間、いざ内見にやってきてみたら、エアコン様がいらっしゃると想定していた二部屋のうち一部屋にしかついていなかったのだ。

「あれ、エアコンって一部屋しかついていないんですか？」

「そうですね。一部屋分はご自分で買っていただく形になります」

半分ぬか喜びだった。とはいえこの体温よりも高い酷暑極まる日々を生き抜く為にはエアコンが一台では些か不安である。些かどころじゃない。だいぶ不安である。無理。溶ける。バブルスライムくらいやや固形を保ちつつも液状になる。あいつはいつもどくけしそうが切れたタイミングに限ってどく状態にしてくるから嫌いだ。さあこい、どくけしそうはたんとあるぞと持ち物欄全てをどくけしそうで統一した時は何ともない攻撃ばかりするくせに。このどくけしそうをどうしてくれるんだ。キアリー覚えちゃったんですが。

どくけしそうに支配された持ち物欄という苦々しい幼少の記憶を活かし、新居で早々にデロンデロンのバブルスライムと化すのを回避すべく、我々は良いエアコンを購入することにした。池袋のビッグではなくビックな某家電量販店にて眼鏡の店員さんに「省エネって書いてあるエアコンはその実普通のものよりパワフルなんですよ。一気に冷やすからね」と新たな知識を授けられた私は、ほうほうなるほどね、新居にはパワフルなエアコン様が必要不可欠ですからねと宛かも数ヶ月吟味した果てに最適解を見つけたような顔をして、紹介されたエアコンを即決で買った。プロがそう言うのならそうですとも。勧められた商品を素直に買う良い客、ＥＭＢ。

かくして空調に関しては万全な状態で新居へ向かうことになった。入居日から住んでやるぞという気概満々だったので、入居開始日に合わせて家具家電の配送を頼んでいたのである。

事前に買い込んだ家具家電その他細々したもの達が多過ぎて車に積み込むのに時間が掛かり初日から遅刻確定のあくると、以前から決まっていた家族旅

行により遥か遠くの地にいるトウカさんに代わって、早朝からエアコンを待ち受けることになったのはとおるさんだった。今日は朝イチでエアコンの搬入があるのだ。これから長い間、暑い日も寒い日も共に闘ってくださる尊きエアコン様が取り付けられるありがたいお部屋をまずは確認する。あと数時間もすれば、この程良く空いたスペースには省エネパワフルエアコンが――

ついていた。

何を言っているのかわからないと思うが、エアコンが既についているのである。

おかしくない？　エアコン一台しかついてないから一台買ってねって内見の時に言ってなかったっけ？　鎮座ましましていらっしゃいますがこれは一体。しかも最新のやつ。私たちが探し求めた末に辿り着いた家電コーナーのおじ様オススメの省エネパワフルエアコンとはなんだったのか。この家にエアコンをつけられる場所はもう無いんだが。仮に借家の壁に無断で穴を開けたとしても室外機を置く場所がない。無茶をしたところで無理なのである。

その後、大慌てで注文したエアコンの配送をキャンセルし、何とか間一髪ことなきを得た。エアコンを注文し配送の手続きを担当していた家族旅行中のトウカさんは遥か遠くの地でお問い合わせ対応に追われることになった。

一方その頃、あくるは車に荷物を詰め込んでいた。

◆　最低限の家電が買えない

入居迫り来る八月の末、終わらない宿題を咎められる子供たちを尻目に、一般的な社会人生活において貴重極まりない夏休み（という名の有給消化）を得たあくるはショッピングモールへ買い物に来ていた。どうしても欲しかった家具家電だけは既に購入していたが、その他細々したものはなーんにも準備していなかったのである。

このままでは良いソファーと良いテレビ棚と良い冷蔵庫はあるが鍋すらない新生活がスタートしてしまう。週に一度は手ずから作った好きなものしか入っていない美味しいパスタを食べなければ捻れてしまう病に罹患して久しい私にとって、鍋もフライパンもない生活は死に等しい。ようするにヤバいのだ。シールダーもヒーラーも入れずに今の自分のレベルよりもちょっとだけ推奨レベルの高い秘境に突っ込んで真っ赤になったアルハイゼンの体力ゲージを見た時くらいヤバいのだ。お前がいなかったら到底クリアなどできないのにどうしてお前の体力ゲージは小指の先ほどしか残っていないんだ。やめてくれ。

回復だ。ご飯を食べろ。
　道中私の愛するルピシアや眼鏡屋にしっかり吸い込まれつつ、何とか本来の目的であるティファールへ向かう。そうだった、鍋とかフライパンとか電気ケトルとか、そういう私の昼飯と夕飯を支えてくれる心強い援軍を買いに来たのだった。決して新しい眼鏡を買いに来たのではない。紫外線でグラサンに変化するのカッケー！　となりに来たのではない。茶葉は我慢できずに買った。
　電気ケトルなんてのは最低限お湯が沸けば良いんだよ、程度の気持ちで商品を見に来たあくるが「お茶を淹れるのに便利ですよ（※私は煎茶から烏龍茶から紅茶まで割と幅広く茶葉をストックしているのだが、淹れるのに適した温度はバラバラなうえ適温が百度でないものもあるので電気ケトル単体で温度調節ができるとそれはもう便利なのだ）」と唆され、しっかりと最低限以上の機能を備えた電気ケトルを手にした後、鍋やフライパンを物色していると、ふと目に留まるものがある。
　クックフォーミー。電気圧力鍋。所謂「食材を切って入れときゃ作れるよ」系家電。
　最低限の調理スキルと、やる気がなければ即コンビニ弁当に尻尾を振りまくる柔軟さ、賀来賢人を見れば脊髄反射で「今日、ケンタッキーにするか」とチキンマイルを貯める瞬発力、何かめでたいことがあれば迷いなく銀のさらをお呼びする鋼鉄の精神を持ち合わせている私は一人暮らし期間も自炊に困った覚えはあまりない。ちなみにチキンマイルは爆速でゴールドステージに辿り着き、現在プラチナステージが見え隠れしている。
　されどこの手の便利家電にはとても興味があるのだ。切って入れるだけで美味しいご飯ができるなんてそんな都合の良いことがあって良いのか。昔、天国のおじいちゃんが圧力鍋で作ってくれた筑前煮がとんでもなく美味かったのだが、こいつがいれば楽して同じレベルの筑前煮ができてしまうのか。悔しくないのかおじいちゃん。ま、まあ、料理をするのは嫌いじゃないけど楽できるに越したことはないしね。決してクックフォーミーを使ってみたいだけではないんだ、決して。ちらりと見た値札にはそれ相応の数字と桁数が並んでいる。興味に任せて一人で買うにはべらぼうに高く、実家に置くには物理的にスペースを取り過ぎる。買うなら三人暮らしが始まる今しかない。
「この先、日々自炊するならクックフォーミーって便利なものがあると良さそうなんだけど、どうかな。今ならフライパンと鍋がセットでお得なんだって」
　私はもっともらしい理由を添えてトウカさんとおるさんに承認をもらい、最低限どころかプラスアルファでしかないクックフォーミーを手に入れることに成功したのだった。

◆　クックフォーミー本田

興味本位で購入した便利家電は最初に数回ちょこっと使ったら、後はそのまま埃を被るというのが定石ではあるが、なんとクックフォーミーは日々我々の食事を支えているのである。今現在のＥＭＢはクックフォーミーが作っている。こいつは最早五人目のＥＭＢと言っても過言ではない。あれ、今ＥＭＢって何人いたんだっけ。ＭＯＣさんもＥＭＢだった気がするし、アリキラダービーで距離ＳとったらＥＭＢだった気もするし。兎にも角にも、クックフォーミーはたった数週間で、我々に無くてはならない存在という地位にまで登り詰めたのだった。

既に不動の地位を築きつつあるクックフォーミー。ＥＭＢハウスでは本田と呼ばれ親しまれている。

食後に「クックフォーミーは便利だねえ」と三人しみじみと話していた時に「俺が出よか！？」と言わんばかりのタイミングで電源オンのＢＧＭが流れてきたことに由来する。うっかり間違ってスイッチを触ってしまっただけなのだがタイミングが完璧過ぎた。たしかに本田なら「やってくれる」感あるしな。日々、心の中で「頼むぞ本田」と、彼に揺るぎない信頼を置いた監督の目をしながら、調理ボタンを押しているあくるである。

名前なんてつけて可愛がっているものだから、もしこの先クックフォーミー本田が壊れたら悲しさのあまり号泣するのではないだろうか。本田、お前、無理するなって言ったじゃないか。伸び代じゃないんだ。駄目な時は駄目で良いんだよ。低温調理に向かないお前にコンフィは荷が重かったよ。リハビリは白米を炊くところからだ。また一から始めよう。ゆくゆくはＥＭＢハウス飯の監督にしてやるからな。

クックフォーミー本田、絶対に壊れないでほしい。

◆　ＥＭＢとＪＣ〇ＭとＪＣ〇Ｍおじさん

ＣとＭの間の文字は「まる」です。「オー」ではない。先日、絶対に笑ってはいけない場面でトウカさんが渾身のギャグを飛ばしてきたせいで笑ってはいけないＥＭＢハウスがスタートしたのだが、住んでいる場所がバレてしまうので詳細が書けませんでした。トウカさんもギャグを披露することがあるという豆知識だけ認めておきます。

◆　不健康讃歌

六月中旬頃から原神を始め、日夜せっせと遊んでいる。先日新しいバージョンがリリースされた際に、ツイッチで配信したらガチャ石あげるよキャンペーンが開催され、鍾離先生ピックアップを控えたあくるはガチャ用の石欲しさに配信を始めたのである。配信してもしなくても、どの道原神で遊んでいるのだから配信した方がお得ってもんだ。配信キャンペーンの下準備も全て終えて配信ボタンを押してから、コミュ障で話し下手で興味があること以外口数が少ない絵に描いたようなオタクに一人での配信が務まるのだろうかと不安が過ったりもしたが、ガチャ石に目が眩んでいたので一瞬でそんな不安は都合良く忘れた。悩んでいるうちにさっさと始めて規定の時間をクリアする方が重要なのだ。

ありがたいことに見に来てくださったり、コメントしてくださったり、マルチで遊んでくださったりと視聴者の方々のご助力もあり、それはもう日々楽しく配信に勤しめていたのだが、引っ越しをしてからは健康上の問題で配信が難しくなってしまった。

ルームシェアを始めてからというもの、うっかり健康になり過ぎたのである。

配信を始めた八月頃のあくるといえば、在宅ワークを良いことに日差しに焼かれたくないなどと供述し、家から一歩も外に出ず、運動不足なんて生ぬるい言葉では片付けられない程に動かざること山の如し。スマホに元より備わっている万歩計のグラフは地を這い、湯船に浸かるのが面倒だからとシャワーでサッと身を清めるだけの生活だったので、当然、深夜になっても眠気が訪れない。一時を過ぎ、二時を過ぎ、三時を過ぎ、新聞屋が来てもまだ起きている。何しろ身体が微塵も疲れていないので、身体も「まだいけるんじゃないか」と誤認しているのである。そうして明け方まで何らかの作業をしているとようやくうとうとして、少し寝て、起きて、仕事を始める。そんな不健康極まる生活の結果として深夜に発生する長い自由時間、私は嬉々として趣味を謳歌していた。絵を描くにも文を書くにもゲームをするにも横槍が入らない最高の時間帯だ。オタクのゴールデンタイム。

しかし引っ越しを機に、流石に不健康過ぎたなと反省した私は、毎日喜びに胸を開き大空仰ぐラジオ体操生活を開始し、筋肉が無いから体力が足りていないのではないかという無理矢理な仮説の元、出来ないなりにほんのりと筋トレを始め、夜には皆が風呂に浸かるので私も浸かっている。なんと良い香り

のするバスソルトまで入れている。これまでの人生、温泉の素か肩こりに効くみたいな謳い文句が全面に押し出された無骨な入浴剤しか使ってこなかったので最初は密かに困惑したりもした。バスソルト……？　塩？　塩で揉まれるのか？　出た後にクリーム塗れとか散々言われたりしない？　気が付いたら山の中で震えながらポツンと立ってたりしない？　無事でした。

　そんな当社比丁寧な暮らしを繰り返した結果、日付けを跨ぐ頃にはちゃんと眠くなり、七時間程眠ったのち、朝にはスッキリ目が覚めるという健康的な身体になってしまい、深夜の配信はできなくなったのだった。もう少し早い時間に配信すれば良いだけなのだが、それがなかなかどうして難しい。深夜の自由時間を睡眠に当ててしまったので、今まで自由にしていた時間の半分程で家事と勉強と趣味を全うしなければならないのだ。時にはこの貴重な時間に仕事が侵食してくるものだから、社会人とは辛い生き物である。早くこの短い時間で効率良くやりたいことがやりきれるようになりたい。配信をしたい。でも他のこともやりたい。ウマ娘も育てたい。時間は有限だということを改めて実感する日々である。

　健康で文化的な人間らしい暮らしは素晴らしいが、不健康で怠惰的な駄目人間らしい暮らしでしかできないこともあるのだなあと、深夜配信のお供によく食べていた冷凍の今川焼きの味に想いを馳せる、秋の夜長。

◆　犬

　トウカさんととおるさんとはかれこれ干支が一周してもおつりが来る程度には長い付き合いなので、ルームシェアを始めても特別違和感がない。家の中をトウカさんが歩いていても、とおるさんが謎のトレーニングを始めても日常風景の一端にしか映らないのである。まだ新生活を始めて数週間なのに。いっそ違和感がなさ過ぎることに違和感を抱き始めている。もしかしたら私は気が付いていないだけで既に五年くらいこの家で皆と暮らしているのかもしれない。

　友人とルームシェアをしているという話題になる度、ポジティブな話よりも圧倒的に「デメリットはないのか、嫌のことはないのか」とネガティブなことを聞かれるのだが、実家で暮らしていても、一人で暮らしていても、三人で暮らしていても、そこにはそれぞれそれなりのメリットとデメリットがあるのは当然のことなので、何も嫌なところばかり態々クローズアップして聞かなくても良いのになと思っ

たり思わなかったりする。あ、実家の母から犬の写真が送られてきた時に、この茶色い毛むくじゃらのキュートな生き物をもふりとしたい時に撫でくり回せないのはデメリットだなとはちょっとばかり思うかもしれない……いや、待て、そもそも実家で飼っていた犬は自分が撫でられたい時以外に撫でると歯茎剥き出しで唸るので、私がもふりとしたい時に撫でくり回せたことはただの一度もなかったのではないか。危ない危ない。暫く会わないと思い出がドンドン美化されてしまう。暫くね。前にあったのは一週間前だったっけ。今週も会いに行きます。犬に。

◆

おわりに

今更ですが、タイトルの『出張版　その辺の必然』。何が出張版なんだとお思いの方も多いのではないでしょうか。『その辺の必然』とは、あくるが密かに書いているブログのタイトルです。最近更新をサボっています。ついでに今のところ原神プレイ日記しか書いていません。ブログ名は気に入っているので折角だからと流用してみました。語呂が良いんだ。その辺の必然。

閑話休題。お久し振りのアリキラ白書、他の方が何を書いているのかまったく知らないので一読者として読むのが楽しみです。今回の白書を書くにあたり、二〇一三年の白書を引っ張り出してきて読み返して懐かしい気持ちになったり変わらんなという気持ちになったりしました。この白書を読み返す頃、多分また同じことを考えるような気がします。

どうしよう。久し振りだからと皆とんでもなく真面目な文章を書いていたら。アリキラ今後十年のロードマップであるだとか、ラジオに対する真摯な想いであるだとか。何せ久し振りなもんだからその間に書き溜めたスープカレー論文を提出する方だっているかもしれない。お前が書いたこれは何だ。言ってみろ。ＥＭＢ共同生活ご愉快レポです。どうか浮いていませんように。

書きたいことは尽きませんが、締め切りまでの日数が順調に減っているのでこの辺りで締めたいと思います。

それではまたお目に掛かれる日まで。ごきげんよう。ＥＭＢのあくるでした。

エンタメ振り返り
２０２３

ジャーマネ

ここ１～２年のジャーマネの楽しみをまとめました。

画像たちとともにどうぞ。

プロ野球チーム

北海道日本ハムファイターズ

BIG BOSS 改め新庄剛志監督率いる北海道のプロ野球チーム。2016 年の優勝を最後に大苦戦中。「一番知名度があるのは監督」「深刻な攻撃力不足」「OB 岩本さんの解説はもはや居酒屋」「育った選手は育った順番に他球団へ出ていく」「中継を一手に引き受ける CS 局 GAORA の放送席からも人が抜けていく」「元の本拠地球場の使い勝手が悪い」「新球場のホームベースから観客席までの距離が足りなかった」など話題に欠きません。2022・2023 年は球場で 4 試合を生観戦するもすべて敗戦来シーズンこそは。なんとか。お願いします。ねえ。

今川選手（推し）のインスタ

野球チームとは思えない球団ＨＰ

スペインプロサッカークラブ
レアル・マドリー

スペインの国内サッカーリーグLaLigaの名門お金持ちチーム。白書執筆時点では、チームがどうこうというよりもスペインサッカー連盟の会長の悪いニュースばかりがメディアを騒がせていますが、ホームスタジアムのサンティアゴ・ベルナベウは2019年に始まった大規模改修工事も終盤戦。「お金の力でどこまでやっちゃうんだろう」って斜めから見てます。なお、サッカー観戦素人の私を沼に引き込んだ「実況：倉敷保雄アナ、コメンタリスタ：小澤一郎さん」のコンビナシオンは良い意味で重罪。ゲット！

配信でもお馴染みのEAFC24

実は会員

ラジオ

東京ポッド許可局

2008年のポッドキャストから始まり、2013年からはTBSラジオで放送されている、知的好奇心を丁度良くくすぐってくれるラジオ番組。3人のおじさま芸人の繰り出す「○○論」「思わずツイートしてしまいました」「スピリチュアル・コーナー」「あの人、あのとき何歳だった?クイズ」などのコーナーが癖になってしまい聴取中。「スピる」「曲のイントロがデカい」「タツオが過ぎる」など一見意味不明なワードも、一度ハマってしまうと中毒性が高い。最近はリアルイベントを配信で見るのも楽しみ。2015年ごろの「10分どん兵衛ブーム」はこの番組から。

マウスパッド（グッズ）

良いテーマ

EUROBEAT YouTube チャンネル

HI-BPM STUDIO

コロナ下の2021年に開設されたEUROBEAT YouTube チャンネル。およそ隔週で横田商会スタジオから生DJを配信中。クラブに行かず車にも乗らない引きこもりユーロ勢としては、養分を浴びることのできる貴重な機会。昔々の1990年代には当時のJ-POPや一部アニソンとユーロビートの垣根が消失していた時期があり、多くの日本人にはユーロビート遺伝子が知らず知らずのうちに組み込まれているはず。20世紀の個人的おすすめ懐かし盤は1998年の「SUPER EUROBEAT Vol.90」。CD2枚組、計80曲入り。

おすすめ懐かし盤

丁度良いペースで配信してくれます

FPSゲーム

APEX LEGENDS

2019年配信開始のFPSバトルロイヤルゲーム。開発はRespawn Entertainment。3人組の20部隊が空飛ぶ船からダイビングしてマップ上に降り、拾った銃で撃ち合って最後まで生き残った部隊がチャンピオンとなる単純なルール。競技プロ、配信者、Vtuberなどがコンテンツを盛り上げ、プレイヤー人口は相変わらず多い。バグとチーター対策が永遠に喫緊の課題。公式世界大会「ALGS」や切り抜き翻訳動画「エペ訳」などから入るのもオススメ。執筆現在はシーズン18が進行中で、Twitchで夜な夜なプレイしています。一緒に遊んでくれる人を5000兆人募集中。

著者近影と泥棒

たまに勝てることもあります

アリキラメンバーで打線組んでみた

ジャーマネ＆トウカ

ジャーマネ＆トウカの野球番コンビが、野球経験がほぼ０のアリキラメンバーたちを、妄想だけで打線に組み込んでみました。多分間違っていますがご覧ください。

【切り込み隊長としての1番打者】

ジャーマネ（以下、ジャー） いきなりですけど、1番2番埋めますか。1番って足が速いのかな？
トウカ やっぱり盗塁とか。イメージ的には。
ジャー どんどんかき回してくれるイメージがほしいですよね。
トウカ 兄さん（とおるさん）じゃないですか？
ジャー ああ。兄さん。足速いんだよね。きっとね。
トウカ 足が速いかどうかは別にして、かき回しそうっていう（笑）
ジャー あー、なるほどね。いいですね。

【最強の2番打者】

ジャー で、塁に出たとおるさんを誰が送るんだこれは？
トウカ えー、難しいなあ。
ジャー 送りバントキャラっていうことになりますよね。
トウカ そうですよね？
ジャー おじさん方の中では送ってくれるのはｔｓＺさんなんですけど。
トウカ はいはいはいはい。
ジャー 他の仲間のメンバーだとね…くれはさん2番ってのもなくはないですけど…ただくれはさんね、長打を打っちゃうんだよなあ。
トウカ なんかくれはさんは5番とか6番でも良さそうな感じしますよね。
ジャー 全然いいですね、確かに。トウカさん、この中で2番ぽい人って残ってます？
トウカ ええ、どうかな？まあ、確かにｔｓＺさんは2番っぽいなって思いますね。
ジャー じゃあとりあえず一旦おきましょうか？ｔｓＺさんを2番に。

【ＭＯＣさんの打順適正】

ジャー 最初に４番から決めますか？
トウカ そうですね。
ジャー まあ大変遺憾ではありますけども…４番ＭＯＣさんという説はありますよね。
トウカ ４番ＭＯＣさんがいいか、先発ＭＯＣさんがいいか、すごい悩んでます。
ジャー もしくは、もう二刀流ね。他に４番候補って居ます？
トウカ そうだなあ…意外性を持つならぴぃちゃんとか？
ジャー ぴぃちゃん、４番もあるよねー。
トウカ そうですね。
ジャー ただ、ＭＯＣさんの打順って４番適正以外が全くない感じはしますよね。
トウカ そうですね。
ジャー とすると、ぴぃちゃんって打順どこですかね？
トウカ ４番じゃなかったらか…。これってＤＨ制のチームですかね。
ジャー ＤＨありでいいと思いますね。
トウカ そしたら…９番もありだと思いますよ、ぴぃちゃん。
ジャー なるほど！これ、９番から１番につながるやつですね！
トウカ そうですそうです。

【ＥＭＢのイメージ】

ジャー あとＥＭＢだと…あくるさんって何番なの？
トウカ いやあ…あくるさんすごい悩むんですよね。３番に入れるか５番に入れるかは悩みますね。
ジャー あとは３番か５番に誰入れる？もう一人。トウカさん３番入る？

トウカ　私、３番打てるかな…？
ジャー　何番なら打てそうです？
トウカ　えー…７番あたりにそっと…
ジャー　おお。でもこのチーム下位打線がすごく大事ですからね。うん。

【３番打者の技術力】

トウカ　技ありの３番を持ってくるんだったら、Bros.さん・くれはさん・イモリさんあたりかな…
ジャー　ありますよね。私の中だとくれはさんクリーンナップですね。
トウカ　うんうんうんうん。
ジャー　確かな技術系なんですよ。
トウカ　そうなんです。上手くすれば前の出塁してる選手を返してくれるし、自分が出て点数のきっかけも作れるっていう。
ジャー　そうね。あとは４番・５番がくれはさんを返すだけみたいな。それいいですね、うん。私の妄想なんですけど、くれはさん３割15本ぐらいなんですよ。あくるさんは２割８分で30本みたいな。
トウカ　はいはい。
ジャー　そんな偏見を持ってますね。

【鉄壁の投手陣】

ジャー　あと６・８番と先発・抑えですね。
トウカ　やっぱ４番ＭＯＣさんなら、アリマさん先発じゃないですか？
ジャー　ああ、なるほど。じゃあ投げときましょう。スタミナ無いで２回までしか持ちませんけど。
トウカ　笑

ジャー　まあ、さゆさんがロングリリーフしてくれますから。「すごい！」って言いながら6イニングぐらい投てくれますからね。あとは誰？
トウカ　さゆさんと閣下がいますね。
ジャー　うーん。さゆさんってどこだ？
トウカ　案外中継ぎとかいい気がします。
ジャー　中継ぎ、いいですね。あと閣下は…6番でもいいし8番でもいいし…なんならクローザーもなくはないですよね、これね。
トウカ　代打で出てきてクローザーで締めるのもかっこいいですね。
ジャー　クローザー閣下って面白いですね。響きが。

【下位打線最後のピース】

ジャー　で、Bros.さんとイモリさんだと…どっちが6番どっちが8番？
トウカ　いや、でも5番6番にあくるさんBros.さんがいたら、すごい打点力上がりそうじゃないですか。
ジャー　めっちゃ入りそう。ということは、6番Bros.さんで、8番はイモリさん。決まりましたね！

			AVG	HR	
1	中	とおる	**.280**	10	走力〇
2	遊	tsZ	.240	5	守備◎
3	右	くれは	**.300**	13	
4	DH	MOC	.200	**45**	
5	一	あくる	.260	**30**	
6	左	Bros.	**.290**	7	走力〇
7	三	トウカ	.270	5	守備〇
8	捕	イモリ	.220	15	守備〇
9	二	ぴぃ	.240	3	走力◎
代打		あかり	.250	**20**	走力〇

先発	Arima.Y	135km/h	変化球系
中継ぎ	さゆ	130km/h	真っすぐ系
抑え	アサミ閣下	145km/h	フォーク

野球番ＭＣ陣、渾身の打線。

ココ最近の好きなモノの話。

♕幽遊白書→私の柱。2022年末から冨樫義博GOD神の原画展も開催さん大成景った。こんなの一生に一度だからね!!

♕杉田智和さん→2本目の柱。ラジオでのハガキ採用ありがてぇ(数年ぶり)。お世辞でもイラスト褒めてもらえると嬉しい。

@ウォーキング・デッド(終)
スピンオフはその内追っかけます。

@令和のダラさん
とにかく読ませ欲しい漫画

@モータルコンバット
FATALITY

ピーナッツくん

ぽんぽこさんとのやりとりとかしいよね。町中華回好き。

バーチャルおばあちゃん

VB。不謹慎ネタ多し。
たまに垣間みえる、すあだワールドの狂気が好き。ババ様さんすき。

今酒ハクノ

滅びよ人類の人。
お酒とラップとニンニク。

ナポ・レボリューション

物凄く言語化が上手い。
フリー住所系Vなため、玄関先に季節の飾り物やイチゴの鉢を置かれていた。

ちいかわ(ポシェットの鎧さん)

杉田さんがポシェットの鎧さんの役ということでコミックスを買って読み返してみたらどハマリ。
ポシェットの鎧さんは優しさとクリエイターの魂を持つ良キャラ。今一番の目標。

かっとうまさんせい

あんまみたことないクロゲーをプレイしてくれる。UEのアセットを使ったゲームも多いので見たコトあるフィールドや家が出てくるとクロゲーに土地感のある状態になる。

VOICEVOX

ずんだもんとかのヤツ。
ゆかりさんが上司のあのchをよくみてるよあおあああ
最近はWhiteCULLの音声スタイル「ばぇーん」がクセになってる。おじすあべば!!

旅行系→西園寺。アンドロイドのお姉さん。
(鉄道系?)

はーい
キイチゴ ふりきれてまうわ

Youtube
ばっかみてる〜。

アサミ閣下

@みゆねえ(Miyunay channel)
@1000円蝶栞
@タイガキングダム
@お塩じゃけ子
@DancingBacons
@あぎりさんぱ
その他美容系、

アリキラ配信一覧表

【２０１２年】

第３５５回～アリマ様がみてるキラキラ　０１～
第３５６回～アリマ様がみてるキラキラ　０２～
第３５７回～アリマ様がみてるキラキラ　０３～
第３５８回～アリマ様がみてるキラキラ　０４～
第３５９回～アリマ様がみてるキラキラ　０５～
第３６０回～アリマ様がみてるキラキラ　０６～
第３６１回～アリマ様がみてるキラキラ　０７～
第３６２回～アリマ様がみてるキラキラ　０８～
第３６３回キラキラグランプリ２開幕戦
第３６４回響かないわねぇ、今日。
第３６５回パイレーツでよろしくお願いします。
第３６６回ＭＯＣ監督のあるある脳内グランドスラム
第３６７回キラキラグランプリ２第２戦
第３６８回タロッてみました。
第３６９回北海道に行ってきました
第３７０回お互い長男として頑張りましょう
第３７１回リンゴの手先じゃないですよー
第３７２回札幌のビックロ
第３７３回可愛いぴぃちゃん
第３７４回居たかしら、妹。
第３７５回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみた1ターン目
第３７６回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみた2ターン目
第３７７回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみた3ターン目
第３７８回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみた4ターン目
第３７９回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみた5ターン目
第３８０回カードショップにいる普通のお客さんを捕まえてみたファイナルターン（対戦動画付）
第３８１回はじめてのキラキラグランプリ
第３８２回キラキラグランプリ２第４戦
第３８３回１／４の奇跡
第３８４回ポッキーおばちゃんがとけるほど恋したい
第３８５回キラキラグランプリ２第５戦
第３８６回イザベルと雑談

【２０１３年】

第３８７回キラキラグランプリ２ファイナル
第３８８回ンマァー（エンジン音）

第３８９回 北海道あるある脳内グランドスラム
第３９０回 愛のバトルシスター
第３９１回 亜樹と瑠美ですよね？
第３９２回 ふつおたを読みます
第３９３回 ＭＯＣさんの電源コードを６０Ｈｚに変換
第３９４回「昔から友達が少ない人は大丈夫」説
第３９５回「ｔｓクローバーＺさん」
第３９６回「パンのコーナー」
第３９７回「ごちそうさまでした」
第３９８回「いやー・・ホームランです。」
第３９９回「元外野のコーナー」
第４００回「ＭＯＣさん脱皮大成功スペシャル」
第４０１回「勇者くれはの冒険」
第４０２回「ＥＭＢヒミツの夜遊び」
第４０３回「はかせの審判」
第４０４回「イライラ総合研究所」
第４０５回「イライラ総合研究所ＮＥＯ」
第４０６回「思ったよりは不味くなかった」
第４０７回「高枝切りバサミに合う防具」
第４０８回「ゲームのアレな話」
第４０９回「野球と武田寿司の話」
第４１０回「コミケ３日目にＣＤを出すかもしれない件」
第４１１回「跡部様のヒザから上をオペラグラスで見る女子」
第４１２回「脱いだら凄いのよ。色んな意味で。」
第４１３回「オトナの話」
第４１４回「タイムリー欠乏症」
第４１５回「（ピー）はザコ敵ではない」
第４１６回「埼玉貧乳問題」
第４１７回「ムラムラ総合研究所」
第４１８回「３軍落ちしたトゥイーティー君はオス」
第４１９回「いちごちゃんの断末魔」
第４２０回「ドラゴンクエスト９です！ジャーン！」
第４２１回「末端冷え性なので。」
第４２２回「負けたらオンエアされないんです」
第４２３回「しずかちゃんはパブリックドメイン」
第４２４回「ミカ！」
第４２５回「良い発音のｗａｔｅｒ」
第４２６回「勝つためなら何でもしますよ」
第４２７回「テニプリのタカさんの香水はお酢」
第４２８回「今年最後のグランドスラム」
第４２９回「パイパイちゃん」

第４３０回「ミスラストワンとミスＳｏｕｎｄＣｌｏｕｄ」
第４３１回「アリキラ日本シリーズ２０１３」
第４３２回「アリキラ日本シリーズ２０１３後半戦」
第４３４回「勇者くれははカギを手に入れた！」
第４３５回「綺麗なお姉さん川柳は好きですか？」

【２０１４年】

第４３６回「紅白歌合戦（HARD）について教えてください」
第４３７回「サブちゃん登場」
第４３８回「大魔王の秘密日記」
第４３９回「イライラ総合研究所（終）」
第４４０回「答えが『６３４ｍ』になる問題を考えてください」
第４４１回「痔は広げないでおきましょう」
第４４２回「グランドスラムアワード」
第４４３回「ＭＯＣさんの雪合戦必勝法」
第４４４回「藤原さんは別の生命体」
第４４５回「はいてる海パンの右半分」
第４４６回「木で出来た１番ゥアイアン」
第４４７回「ジャーマネ生存報告バラエティー ジャバラ」
第４４８回「マドモアゼルなぞなぞ」
第４４９回「「それはおっぱいですか？」「それはおっぱいです！」」
第４５０回「高山みなみさんを見た後と、虫を見た後のテンション」
第４５１回「ビンゴ！」
第４５２回「スネオロイド」
第４５３回「ドゥフ（鼻血ぴぃ）」
第４５４回「銅鑼の音からこんばんは」
第４５５回「大きい鍋に頭をぶつけた音」
第４５６回「美味しいな ああ美味しいな 美味しいよ」
第４５７回「関係者の皆様、よろしくお願いします。」
第４５８回「イエス！ベスポジ！」
第４５９回「ディズニーランドのシンデレラ城」
第４６０回「アリキラ日本シリーズ２０１４」
第４６１回「アリキラ日本シリーズ２０１４後半戦」
第４６２回（アリキラ白書２０１４に収録）

【２０１５年】

第４６３回「メルヘン大相撲初場所」
第４６４回「ラジオショッピング」
第４６５回「モンハンで夜ふかし」
第４６６回「私とお正月」

第４６７回「９９点の女子高生とは」
第４６８回「私と誕生日と牛角」
第４６９回「少年サタデーと偉大なる赤竜」
第４７０回「デレマスで夜ふかし」
第４７１回「逃走中と餅ランキング」
第４７２回「ついついやってしまう分解」
第４７３回「開幕前の日ハムなどの話」
第４７４回「ちぃちゃんとプロ野球チームと芋けんぴ」
第４７５回「レトロゲームの話」
第４７６回「芸能界すごろくと椎茸８枚」
第４７７回「タイムラグのない普通のおたより」
第４７８回「恐竜大図鑑」
第４７９回「わが街の自慢と休日の女子」
第４８０回「虫といえば、この方です」
第４８１回「川っぺりにあるやつじゃないです」
第４８２回「たくさん食べる２０代女子と、軽く引く３０代」
第４８３回「素敵な犬を見つけてください」
第４８４回「パズドラで夜ふかし」
第４８５回「ＦｏｒｅｓｔがＡｍａｚｏｎで予約受付中ですので、ＡｍａｚｏｎでＦｏｒｅｓｔを買ってください」
第４８６回「脱臼程度で良いんです」
第４８７回「イオシスの料理上手男子」
第４８８回「初めて買った音楽」
第４８９回「ラジオ体操で厳重注意」
第４９０回「夏の終わり」
第４９１回「吾輩は猫である。名前はキャサリン。」
第４９２回「メルチャン大王様」
第４９３回「レギュラーシーズン終盤の日ハムなどの話」
第４９４回「メルチャン２０１５ 北海道・東北・中部ブロック予選」
第４９５回「メルチャン２０１５ 近畿・中国・四国・九州・沖縄ブロック予選」
第４９６．１回「カードゲーム「天下無双演舞」第１回第１戦」
第４９６．２回「カードゲーム「天下無双演舞」第１回第２戦」
第４９６．３回「カードゲーム「天下無双演舞」第１回第３戦」
第４９６．４回「カードゲーム「天下無双演舞」第１回最終戦」
第４９６回「メルチャン２０１５ 関東ブロック予選」

第４９７回「メルチャン２０１５ 決勝前半戦」
第４９８回「メルチャン２０１５ 決勝後半戦」
第４９９回（アリキラ白書２０１５に収録）

【２０１６年】

第５００回「イベント　個別指導アリキラ学院」
第５０１回「２０１６年のコーナー紹介など」
第５０２回「第２回 天下無双演舞 第１戦」
第５０３回「ゼルガディスさん！」
第５０４回「第２回 天下無双演舞 第２戦」
第５０５回「好きな駄菓子、ビンゴするまで帰れま１０」
第５０６回「アリキラ駄菓子オブザイヤー」
第５０７回「第２回 天下無双演舞 第３戦」
第５０８回「熱闘！メルヘン大相撲の稽古場」
第５０９回「シンデレラプロジェクトでスタメン組んでみた」
第５１０回「スターは遅れてやって来る」
第５１１回「ＵＬＴＲＡ ＳＵＰＥＲ ＭＡＳＵＩ ＴＩＭＥ」
第５１２回「第２回 天下無双演舞 最終戦」
第５１３回「アリキラニュースデスク」
第５１４回「ぴぃちゃんのアリキラダービー」
第５１５回「第３回 天下無双演舞 予選Ａブロック第１戦」
第５１６回「こんなサザエさんは見ていてヒヤヒヤする」
第５１７回「第３回 天下無双演舞 予選Ａブロック第２戦」
第５１８回「ロックマンのボードゲームとＶＲとタコライスの話」
第５１９回「アリキラポケモンずかん」
第５２０回「ハッスルおじいちゃん川柳」
第５２１回「厳重注意と小さなファミコン」
第５２２回「アリキラニュースデスク２」
第５２３回「戦国時代スマホあるある」
第５２４回「メルヘンチャンピオンシップ２０１６参加者募集中」
第５２５回「メルヘンチャンピオンシップ２０１６決勝前半戦」
第５２６回「メルヘンチャンピオンシップ２０１６決勝後半戦」

【２０１７年】

第５２７回「オープニングバナニー」
第５２８回「ビミョーな呪文とその効果を教えてくだ

さい」
第５２９回「アリキラ白書２０１６を振り返ろうの会」
第５３０回「メルヘン節分に歳の数だけ食べるものとは？」
第５３１回「８年ぶりのクイズ常識放送局」
第５３２回「メルヘンかるた！「み」」
第５３３回「Ｎｉｎｔｅｎｄｏ Ｓｗｉｔｃｈの隠れ新機能とは？」
第５３４回「変質者情報」
第５３５回「メルヘンかるた！「し」」
第５３６回「読みたくなる少女漫画のタイトルを教えてください」
第５３７回「梅雨トークは５分が限界」
第５３８回「メルヘンかるた！「ゑ」」
第５３９回「北海道限定でナイスなキッコーマンめんみ」
第５４０回「おネエと仲良くなりました！」
第５４１回「私にカスベの煮付けを作ってくれようとするところでした！」
第５４２回「第３回 天下無双演舞 予選Ｂブロック第１戦」
第５４３回「ＭＯＣさんを吊るそうとした日」
第５４４回「ポテトはナゲットのソースをつけることによって初めて完成するので」
第５４５回「メルヘンかるた！「ひ」」
第５４６回「第３回 天下無双演舞 予選Ｂブロック第２戦」
第５４７回「何だ、そのトトロ」
第５４８回「メルチャン２０１７開催のお知らせ」
第５４９回「第３回 天下無双演舞 決勝 第１戦」
第５５０回「第３回 天下無双演舞 決勝 第２戦」
第５５１回「メルヘンチャンピオンシップ２０１７前半戦」
第５５２回「メルヘンチャンピオンシップ２０１７後半戦」
第５５３回「ひとりアリキラ」
第５５４回「昨年読めなかったおたより」
第５５５回「なぞなぞと報告と新年会」

【２０１８年】

第５５６回「脳内グランドスラム」
第５５７回「途中参加のビーグル犬」
第５５８回「逆な感じ川柳」
第５５９回「全否定からの自己主張」
第５６０回「１年ぶりのアリキラニュースデスク」

第５６１回「メルヘンかるた「も」」
第５６２回「普通のふつうのおたより」
第５６３回「ＭＯＣさんによる報告のコーナー」
第５６４回「さーて、来週の○○○さんは？（再）」
第５６５回「早回し雷禅とサラダ館」
第５６６回「答のようなヒント」
第５６７回「３人のおいたん」
第５６８回「なぞなぞと報告の前に」
第５６９回「メルヘンかるた！「せ」」
第５７０回「家電量販店における「強」」
第５７１回「日本代表の海苔弁フォーメーション」
第５７２回「アリキラリスナーの新しい呼び名とは」
第５７３回「僕の趣味は読書です」
第５７４回「パッション」
第５７５回「メルヘンかるた！「す」」
第５７６回「ゆるゆるＱ」
第５７７回「カフェ収録」
第５７８回「解散マン、参上！」
第５７９回「チコちゃんに本当に叱られる！」
第５８０回＆野球番！２０１８ 第３１回 合体スペシャル
第５８１回「クイズ最近貴族」
第５８２回「お客様対応」
第５８３回「卒寿」
第５８４回「滑りやすくなっておりますのでご注意ください」
第５８５回「メルヘンかるた、完結」
第５８６回「ガラガラヘビがやってくる」
第５８７回（イベント配布　スペシャル回）

【２０１９年】

第５８８回「ＭＣ．ＭＯＣクリスマスディナーショー～ビーフｏｒチキン２０１８～」
第５８９回「イベントの感想」
第５９０回「吉田さんお得意の「滅んでしまえばいいのに」にも、温かい目で見守ってくれるご常連方」
第５９１回「吉田かじり虫」
第５９２回「ジャーマネ（本体）」
第５９３回「忙しい人のためのポリンキー」
第５９４回「もうひとりの科捜研の女」
第５９５回「２０１９年初メル子」
第５９６回「古池や蛙飛び込む」
第５９７回「さようなら平成こんにちは令和ありがとうＭＯＣさん」
第５９８回「令和最初の報告」

第５９９回「魔法少女すごろくのマス目に書かれてることを教えてください」
第６００回「アリキラクイズ トリプルヒント」
第６０１回「クイズ収録後の雑談」
第６０２回「ピカチュウ！１０万ボルトだ！」
第６０３回「オレのｉＰｈｏｎｅはホッカホカです」
第６０４回「おにぎりなさい」
第６０５回「四半世紀前の話」
第６０６回「不惜身命」
第６０７回「クイズと天気予報」
第６０８回「寒空見学会」
第６０９回「１００点超えの雪虫」
第６１０回「暫定１位のコロッケパン」
第６１１回「もういい！もどれ！」
第６１２回「年末の恒例行事」

【２０２０年】

第６１３回「ＮＥＯメルヘンかるた、始動」
第６１４回「ラグビーでは」
第６１５回「ＭＯＣ太郎電鉄」
第６１６回「ふっくりんこ」
第６１７回「数値」
第６１８回「そういうテーマですからねえ」
第６１９回「リモート駄菓子会」
第６２０回「ねるねるねるねは練り物ではない」
第６２１回「飛竜頭の部位破壊」
第６２２回「チョコパイ出した子一等賞」
第６２３回「キレイな話と悲しい話」
第６２４回「高名な俳人」
第６２５回「キーマカレーで阿鼻叫喚」
第６２６回「砂時計と水たまり」
第６２７回「酒ガチャとメロンと天丼のタレ」
第６２８回「トラックとクリック詐欺」
第６２９回「またこれやるの？」
第６３０回「今ね、舌が噛み切れましたんでね」
第６３１回「もう寝てるかも」
第６３２回「ワールドワイドラジオ」
第６３３回「キャメ農」
第６３４回「流行語とＣＣＢと今日の星座占い」
第６３５回「噴射」
第６３６回「２周目のハードル」
第６３７回「ポータルサイト」
第６３８回「伝線とマネのマネ」
第６３９回「ＡＩと昔のクイズ番組」
第６４０回「私は誰でしょうクイズ」

第６４１回「クイズ王」
第６４２回「もう終わってますよトウカさん」
第６４３回「ワニは来ますよ」
第６４４回「お盆の乗り物」
第６４５回「生配信　アリキラメンバーと年末をのんびり過ごしましょう ～スターは遅れてやってくる！～」

【２０２１年】

第６４６回「あい！（打撃）」
第６４７回「おせちサミット」
第６４８回「バタバタしてるのでおたよりを読む回」
第６４９回「２兆点」
第６５０回「タイトルの重要性」
第６５１回「スターの出番」
第６５２回「腹筋」
第６５３回「モテたいから」
第６５４回「生配信　美味しいおたより」
第６５５回「リモック生誕祭」
第６５６回「グッズ製作委員会」
第６５７回「答えはやさしさ」
第６５８回「ｔｉｍｅａｘｉｓ（ひとり）」
第６５９回「架空のカードゲーム」
第６６０回「賞味期限に気を付けて」
第６６１回「おすすめプレミアム」
第６６２回「生配信　マシュマロ答えます！」
第６６３回「生配信　ふつうのおたよりとは」
第６６４回「伝えてますか、最近のこと」
第６６５回「お子様ランチ会長」
第６６６回「非日常あるあるとは」

【２０２２年】

第６６７回「今年なのか去年なのか」
第６６８回「明るいまちづくり」
第６６９回「Ｄｉｓｃｏｒｄログインダービー」
第６７０回「「ぬ」と「る」」
第６７１回「レトロとは」
第６７２回「モックロス」
第６７３回「作成委員会」
第６７４回「ＭＯＣさんの独特な副音声」
第６７５回「ラジオそもそも論」
第６７６回「食堂とアトランタ」
第６７７回「ネットサーフィン」
第６７８回「２度目の「を」」
第６７９回「ラジオの長さと人数論」
第６８０回「ＭＯＣさんどうして」

第６８１回「最強の洋食決定戦」
第６８２回「少し変わった映画のタイトル」
第６８３回「懐かしの味」
第６８４回「呂布ですね」
第６８５回「本当にあった怖い話」
第６８６回「ハンターズギルド」
第６８７回「醤油ラーメン」
第６８８回「突然のＡＳＭＲ」

【２０２３年】

第６８９回「ラーメンＢＩＧ３（ソロ）」
第６９０回「来年食べたいおせち」
第６９１回「２０２２年のアリキラ」
第６９２回「北日本ローカルインターネットラジオ」
第６９３回「悪霊の神々（ひとり）」
第６９４回「おせちと雑煮とバレンタイン」
第６９５回「おたよりを読むはずでした」
第６９６回「うどんはサラダ」
第６９７回「プレゼントのいろは」
第６９８回「モックロス２０２３」
第６９９回「大型伊達ソックスができるまで」
第７００回「リモック生誕祭２０２３」
第７０１回「第１回のようなメンバー」
第７０２回「和食の朝ごはん」
第７０３回「クイズいつだっけ？」
第７０４回「グミ」
第７０５回「ファミコンソフトを回顧する１９８３・１９８４」
第７０６回「こんなのありました」
第７０７回「ジョリーパスタのメニューを見る夕べ」
第７０８回「最近のドンジャラ事情」
第７０９回「かわいい寝顔」
第７１０回「クリアファイルと夏祭り」
第７１１回「閣下の聖地巡礼」
第７１２回「昨日のプロ野球」
第７１３回「頂いていたおたよりを読みます」
第７１４回「サルであって欲しい…」
第７１５回「買ってきたアイスをみんなで食べる会」
第７１６回「ジャーマネ出張報告２０２３夏」
第７１７回「架空の意味不明な馬名を紹介しますけど、街では秋服が並んでいます」
第７１８回「阿佐ヶ谷イベント、何する？」
第７１９回「おたよりキングダム！」
第７２０回「おたよりＪＣＴ」

野球番！配信一覧表

【２０１６年】

第01回「２試合で２０点取って２連敗」
第02回「100 wild pitches!」
第03回「４年ぶりの火の玉ストレート」
第04回「２三振、２ホームラン」
第05回「ぬいぐるみが出ます」
第06回「ズムサタでの澤村さんのファッション」
第07回「お手玉ゲッツーで無失点」
第08回「6-22でソフトバンク」
第09回「100暴投Tシャツ！」
第10回「人間界の故郷で始球式」
第11回「７回自責点無し防御率0.56で、負け投手」
第12回「坂本選手、お米の炊き方を知らないので炊飯器がほぼ新品」
第13回「ヒーローインタビューをちゃんと喋れるように指導しておきます」
第14回「ひくらさんに70分間話を聞く回」
第15回「ジャイアンツが点を取るためには、阿部さんが復帰すればよかった」
第16回「ヒーローインタビューでウソをつく中田さん」
第17回「高橋光成に代わりまして、代打 熊代」
第18回「ソフトバンク、柳田・内川・松田が３者連続ホームラン！」
第19回「内海投手のキーボードはカナ入力」
第20回「大谷投手、日本最速163キロをファールにされたため「手応えはなかった」」
第21回「田島投手、開幕からの無失点記録が31試合でストップ」
第22回「ビシエド選手、５階席のイスをブッ壊す」
第23回「鼻毛を抜いているのをカメラに抜かれたので、今度から気をつけます」
第24回「安村昇剛投手、1/3イニング無安打無失点」
第25回「昨日、楽天戦が不朽の名作ファミスタとコラボ」
第26回「セ・リーグ、勝ったのはDeNAだけ」
第27回「オコエのファールフライ、長野が捕ろうとしたら知らない人が捕る」
第28回「ポンタ、校歌斉唱」

第29回「イチロー、日米通算4257安打達成」
第30回「ヤクルト山田選手、1シーズンに11球団からホームラン」
第31回「ヤクルト大引選手、「第三者の厳しい目で判断していただければ」」
第32回「セ・パ交流戦、ソフトバンクホークスが優勝」
第33回「阪神福留選手、日本プロ野球通算1500安打達成」
第34回「森君がおかわり」
第35回「金刃投手、2球で2勝」
第36回「日本ハム大谷投手、今月の防御率0.29」
第37回「涌井投手のストレート、162キロと表示」
第38回「カープ、22年ぶりの10連勝」
第39回「カープ黒田投手の走者一掃タイムリーに、菊池選手「二度と無いでしょうね」」
第40回「ロッテ、自力優勝の可能性が消滅」
第41回「ヤマイモ・ナバーロうどん、ホームランでとろろが1.5倍に」
第42回「ぬいぐるみ、再販が決定」
第43回「1番ピッチャー大谷、初球先頭打者ホームラン」
第44回「ヤクルト、由規を支配下登録」
第45回「MOCさんによる今日のバファローズポンタのモノマネ」
第46回「Koboスタにメリーゴーラウンド設置」
第47回「守護神増井、先発に配置転換」
第48回「楽天岡島選手、打ち直し！」
第49回「日本ハム大谷投手、投球後球が2つ帰ってくる」
第50回「番長、24年連続ヒット」
第51回「ペレスさん、もうお立ち台」
第52回「ペレスさん、来日2試合で2ヒーロー」
第53回「岡島さん、引退」
第54回「ジャーマネ選手、プロ野球チップスで当たりを引く」
第55回「中日大島さん、サイクルヒット達成」
第56回「筒香、3試合連続の2発」
第57回「広島黒田、日米通算200勝達成」
第58回「ヤクルト由規、1786日ぶりの勝利」
第59回「阪神、甲子園球場で久々の勝利」

第60回「日本ハム宮西、500試合登板を達成」
第61回「ヤクルト4安打5得点で敗戦」
第62回「2ヶ所で、1イニング4奪三振」
第63回「阪神福留、13年ぶりの最年長サイクルヒット」
第64回「オンドルセク、1回無安打無失点」
第65回「佐野〝ピッカリ投法〟、通用せず」
第66回「筒香に鳩サブレー1年分」
第67回「由規、1797日ぶりの神宮勝利」
第68回「ソフトバンク、明日引き分け以上でM点灯」
第69回「中日岩瀬、900試合登板達成」
第70回「レアードさん、センターゴロ」
第71回「休んでたらマジック点いてました」
第72回「広島M4」
第73回「広島東洋カープ25年ぶり7回目の優勝」

【2017年】

第1回「セ・パ順位予想」
第2回「オリックス、3年ぶりの貯金2」
第3回「西武菊池雄星、1安打完封勝利」
第4回「阪神、9点差をひっくり返して勝利」
第5回「巨人阿部、通算2000試合出場を達成」
第6回「中日荒木、通算2000本安打を達成」
第7回「ソフトバンク、交流戦優勝」
第8回「ロッテ井口、今季限りでの引退を表明」
第9回「中日岩瀬、950登板を達成」
第10回「巨人阿部、通算2000本安打を達成」
第11回「阪神鳥谷、通算2000本安打を達成」
第12回「ソフトバンク、2年ぶり20回目のリーグ優勝」
第13回「広島カープ、37年ぶりリーグ連覇」
第14回「2017年プロ野球レギュラーシーズン終了」
第15回「2017年 クライマックスシリーズ開幕」
第16回「阪神vsDeNAvs雨」
第17回「CSファーストステージ決着」
第18回「広島vsDeNAvs雨」
第19回「冷ぞうこさんが喋った！」
第20回「どこもかしこも2勝2敗」
第21回「ソフトバンク、CS優勝に王手」
第22回「ソフトバンク、2年ぶり17回目の日本シリーズ進出」
第23回「DeNA、CS優勝に王手」
第24回「DeNA、19年ぶり3回目の日本シリーズ進出」

第25回「2017年日本シリーズ開幕」
第26回「ソフトバンク、本拠地で2連勝」
第27回「ソフトバンク、日本一に王手」
第28回「DeNA、今シリーズ初勝利」
第29回「DeNA、ホームで2連勝」
第30回「ソフトバンク、2年ぶり8回目の日本一」

【2018年】

第01回「巨人上原、10年ぶりの東京ドーム凱旋」
第02回「エンゼルス大谷、本拠地で3試合連続HR」
第03回「横浜DeNAベイスターズ、2001年以来の8連勝」
第04回「ソフトバンク柳田、通算65人目のサイクルヒット」
第05回「巨人小林、なんと首位打者に」
第06回「エンゼルス大谷、新人月間MVP」
第07回「ソフトバンク内川、2000安打達成」
第08回「ソフトバンク、モイネロが3者連続三球三振、武田が2試合連続完封勝利」
第09回「カープ新井さん、1年目から20年連続ホームラン」
第10回「セ・パ交流戦、開幕！」
第11回「セ・リーグ6球団が4年ぶりに全勝」
第12回「交流戦最高勝率チームは東京ヤクルトスワローズ」
第13回「松坂大輔、2006年以来のオールスター出場へ」
第14回「オールスターゲームの出場者、ほぼ決定」
第15回「ヤクルト山田哲、通算66人目のサイクルヒット」
第16回「オールスターゲーム、パ・リーグが2連勝」
第17回「DeNA桑原、通算67人目のサイクルヒット」
第18回「巨人山口俊、通算79人目のノーヒットノーラン」
第19回「ヤクルト山田哲、12試合連続打点」
第20回「カープ中崎、通算100セーブ達成」
第21回「中日平田、通算68人目のサイクルヒット」
第22回「ソフトバンク、9連勝」
第23回「西武、トリプルプレー完成」
第24回「新井さん、今季限りで引退」
第25回「阪神藤浪、グランドスラム」

第26回「広島東洋カープ、球団史上初のリーグ3連覇」
第27回「埼玉西武ライオンズ、10年ぶり22度目のリーグ優勝」
第28回「クライマックスシリーズ、ファーストステージ開幕」
第29回「巨人菅野、CS初のノーヒットノーラン」
第30回「クライマックスシリーズ、ファイナルステージ開幕」
第31回「アリキラ第580回＆野球番！2018 第31回合体スペシャル」
第32回「福岡ソフトバンクホークス、2年連続18度目の日本シリーズ出場決定」
第33回「ドロー」
第34回「ジョンソンの力投でカープ先勝」
第35回「ホークス、打ち合いを制し1勝1敗に」
第36回「ホークス、見事な継投で連勝」
第37回「ホークス、延長戦を制しホーム3連勝で王手」
第38回「福岡ソフトバンクホークス、2年連続9度目の日本一」

【2019年】

第1回「開幕戦、半分がサヨナラ」
第2回「巨人、2017年7月以来のマツダスタジアム勝ち越し」
第3回「横浜DeNAベイスターズ、球団通算4000勝」
第4回「日本ハム宮西、前人未到の300ホールド」
第5回「楽天島内、史上11人目の全打順本塁打」
第6回「ソフトバンク甲斐野、デビューから11試合連続無失点」
第7回「阪神福留のセ・リーグ最年長サヨナラ弾は、セ・リーグ通算5万号」
第8回「巨人坂本、開幕から36試合連続出塁」
第9回「DeNAロペス、一塁の連続守備機会無失策のプロ野球記録更新」
第10回「ヤクルト青木、NPB通算1500安打達成」
第11回「ヤクルト、連敗脱出」
第12回「日本ハム大田泰示、12球団からホームラン」
第13回「オオタニサン、サイクルヒット」
第14回「福岡ソフトバンクホークス、交流戦優勝」
第15回「ジャイアンツ、M20」
第16回「代走、宮國」

第17回「読売ジャイアンツ、5年ぶり37度目のリーグ優勝」
第18回「埼玉西武ライオンズ、2年連続23度目のリーグ優勝」
第19回「クライマックスシリーズ、ファーストステージ開幕」
第20回「クライマックスシリーズ、ファイナルステージ開幕」
第21回「福岡ソフトバンクホークス、3年連続10度目の日本一」

【2020年】

第01回「2020年、プロ野球開幕」
第02回「ジャイアンツ、3年ぶり開幕3連勝」
第03回「ロッテ、7年ぶりの8連勝」
第04回「巨人原監督、通算勝利数球団2位」
第05回「巨人亀井、1000本安打達成」
第06回「横浜スタジアムにネコちゃん登場」
第07回「杉谷がパーで川島がチョキ」
第08回「日本ハム宮西、通算700試合登板」
第09回「ロッテ益田、史上5人目の100S・100H」
第10回「ヤクルト小川、史上82人目のノーヒットノーラン」
第11回「西武外崎、決勝ランニングホームラン」
第12回「オリックス山本、25イニング連続奪三振」
第13回「西武内海、743日ぶりの勝利」
第14回「原監督、巨人の歴代最多勝監督に」
第15回「阪神大山、満塁弾含む2打席連続弾（今月2度目）」
第16回「広島長野、全球団からのHRはチーム通算8500号」
第17回「巨人のホームゲームは京セラドーム大阪」
第18回「ソフトバンク森、史上6人目の100H100S」
第19回「巨人菅野、開幕投手からの連勝は13」
第20回「横浜ロペス、日米通算2000本安打」
第21回「ソフトバンク3年ぶりの、巨人2年連続のリーグ優勝」
第22回「日本シリーズ2020は、2年連続でソフトバンクvs巨人」
第23回「ホークス、敵地で2連勝」
第24回「福岡ソフトバンクホークス、日本シリーズ12

連勝、４年連続11度目の日本一」

【２０２１年】

第１回「史上初、開幕戦代打サヨナラホームラン」
第２回「ネコ登場」
第３回「マーティン、15試合で7HR」
第４回「岡本、3BH」
第５回「伊藤大海、23イニング連続奪三振」
第６回「９イニングでピッチャー16人」
第７回「２日連続、100球未満で完封」
第８回「中日大野、1000奪三振」
第９回「阪神佐藤輝、１試合３発」
第10回「オリックスバファローズ、11年ぶりの交流戦優勝」
第11回「オリックス、単独首位」
第12回「西武平良、38試合連続無失点」
第13回「オリックス、貯金11」
第14回「ロッテ益田、11引き分け」
第15回「30年ぶりの送りバント」
第16回「ソフトバンク、45イニング連続無失点」
第17回「パインアメ、セール」
第18回「スワローズ塩見、サイクルヒット」
第19回「斎藤佑樹、今季限りで引退」
第20回「スワローズ、Ｍ９」
第21回「ジャイアンツ亀井、引退」
第22回「リーグ優勝はスワローズ＆バファローズ」
第23回「日本シリーズもスワローズとバファローズ」
第24回「東京ヤクルトスワローズ、20年ぶり６度目の日本一」

【２０２２年】

第01回「2022年プロ野球、3.25開幕」
第02回「マリーンズ佐々木朗希、完全試合」
第03回「Ｇ６人がプロ初勝利」
第04回「ホークス東浜、無安打無得点」
第05回「直接対決振り返り」
第06回「ヤクルトスワローズ、４年ぶりの交流戦優勝」
第07回「バファローズ山本、今季４人目の無安打無得点」
第08回「スワローズ、14カード連続勝ち越し」
第09回「ファイターズ清宮、オールスターでサヨナラホームラン」

第10回「スワローズ村上、5打席連続ホームラン」
第11回「ファイターズポンセ、ノーヒットノーラン」
第12回「東京ヤクルトスワローズ、2年連続9回目のリーグ優勝」
第13回「オリックスバファローズ、2年連続14回目のリーグ優勝」
第14回「今年も日本シリーズはスワローズvsバファローズ」
第15回「オリックスバファローズ、26年ぶり5回目の日本一」
第16回「今シーズンの最終回です」

【2023年】

第01回「WBC日本代表、世界一」
第02回「スワローズ、開幕5連勝で4試合無失点」
第03回「オリックスバファローズ、3者連続ホームラン」
第04回「スワローズ石川、新人から22年連続勝利」
第05回「ホークス和田投手、NPB通算2000投球回達成」
第06回「横浜DeNAベイスターズ、交流戦初優勝」
第07回「オールスター最多得票は、タイガース近本」
第08回「オールスターゲーム、パ・リーグが連勝」
第09回「中田翔、通算300号」
第10回「ホークス石川ノーヒットノーラン、ドラゴンズ大島2000本安打」
第11回「リーグ優勝はタイガースとバファローズ」
第12回「マリーンズ谷保さん、2100試合達成」

今年の奥付イラスト：未定（募集中）

team-ARIMAX
2023 年 10 月 26 日